

第2回 審議会のふりかえり

01

「門真のめざす教育」について

① 門真のめざす教育

- ・縦のつながり（異年齢や異学年・大人など）
 - ・横のつながり（同学年、同級生、地域など）
 - ・将来の自分とのつながり（今と将来の自分とのつながり）
- 上記3つの「人とのつながり」を積み重ね、将来の自立をめざして自分の生き方を見つける子どもを育てる。

② 具体的な取組の現状

現場の教職員と教育委員会が協働して作成した、「門真市キャリア教育指針」を令和5年2月に策定し、人との「つながり」の視点を大切に「門真市版キャリア教育」を実践するため、現在、各中学校区で「キャリア教育全体指導計画」の作成を行うなどの取組を進めている。



人とのつながりの中に「異文化とのつながり」を入れてはどうか。

横のつながりの中に「地域」が入っているので、そこをもう少し広げて「国際」的な視点も持つとよいかもしれないですね。

つながり、つながりって言っているけど、実際、学校と地域は今、つながっていないという状況が出てきている。

うちの校区はうまくいっている。
学校や校区でも温度差があるかもしれない。

学校間の温度差を無くすことができるよう、
学校同士のつながりも大切ですね。

02

「小中一貫教育」とは

西副会長
講演

① 小中一貫教育とは

小中連携のうち、小・中学校がめざす子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、それに基づき行う系統的な教育

③ キーワード

「共有」「一貫（共通・連続）」「系統」

（1）共有……わかりあう 共有は出発点であり到達点でもある

①【目的】めざす子ども像を共有

②【目標】めざす学校像を共有

③【計画】教育課程を共有

（2）一貫性＝共通性＋連続性……そろえて続ける 何を一貫させるのか

①授業スタイルをそろえて続ける

②学習ノートをそろえて続ける

③「話し合い」をそろえて続ける

④発表スタイルをそろえて続ける

⑤家庭学習をそろえて続ける

⑥「見方・考え方」をそろえて続ける

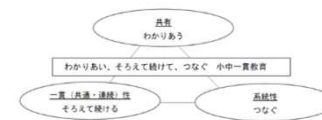
⑦学習規律・生活規律をそろえて続ける

（3）系統性……つなぐ 教育を縦につなぐ

①単元をつなぐ…単元系統図

②授業をつなぐ…小学校高学年における教科担任制

④人をつなぐ……相互乗り入れ指導



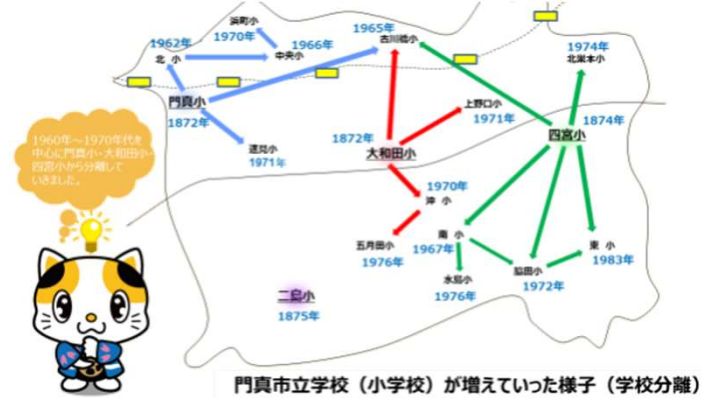
縦のつながりをつくる小中一貫教育……「人は人を浴びて人となる」
子どもは人とのつながりの中で育てたい

それが将来の「自立」につながる

小中が同じ敷地にないという場合に、どうしても方法論とかやり方とかにとらわれてしまいがちだけれども、先生の話でもあったように、まずは子どもたちをどう育てていくのかというような、いわゆる「子ども観」というのを考えていくことが大切。

03 門真市立学校の変遷について

- ①人口の変化
- ・1970年ごろまでにかけて一気に人口が増加した。
 - ・R5の児童生徒数はピーク時（1980年）の27.5%にまで減少
- ②学校分離と学校統合
- 旧村の4校（門真小・大和田小・二島小・四宮小）であつたものが、1960年代以降、人口増加により、分離。旧村4校については、約150年の歴史がある。



ららぽーとなどのところの新しいマンションは速見小学校区になると思いますが、門真小学校区にするのは出来ますか。神社の関わりなど色々な状況があると思いますが。例えば、このように今の校区割で考えていくのではなく、通学路などを考えた上で校区割りを考えるのも手ではないかと思います。

子どものことを一番よく知っている方が、子どもの活動の範囲をもう一度再構築していったらどうかと考えていらっしゃるの、すごく意味のあることだと思います。

04 学校再編にあたっての基本的な考え方について



- ①これからの教育
- ②児童生徒数の推移
- ③校舎の老朽化
- ④まちづくり
- ⑤これまでの変遷
- を踏まえた上で、今後対象となる学校等を検討していくことを確認

僕も、つい最近まで小学生、中学生だったので、老朽化した校舎への対応、そこに関してはその通りだなと思っています。子どもたちや働く先生の気持ち的にもきれいな校舎がいいと思います。この基本的な考え方で準備していけたらなと。

これまで皆さんが通われた学校は、教室がずっと並んで廊下でつながっており、教室とは別に特別教室や図書室があってというような学校で、授業は教室の中で先生が教壇に立って子どもは前を向き、一斉形式で、先生が説明したり質問したりしながら学んでいくというやり方でした。

ところが、①の令和の日本型学校教育や門真のめざす教育は、子どもたちが自分たちでいろんな資料を調べたり、グループになって子ども同士がいろんな話し合いをしながら授業を進めていきます。このような教育や学習をしていく上では、やはり新しい校舎が必要です。

その上で、予算にも限りがあるので、②の児童生徒数や③の築年数などを中心に、④⑤の視点も踏まえながら再編を考えていくのが、この審議会の趣旨です。